

AsciidoctorTemplate

Asciidoctorを作成する上で、Windows環境でも簡単にライブラリロードできるテンプレート。

目次

- 1. 前提条件 1
 - 1.1. Grapvizのインストール 1
- 2. インストール方法 1
- 3. 使用方法 1
 - 3.1. 通常の場合 1
 - 3.2. ライブリロードを使う場合 1
- 4. PlantUMLによるクラス図の例 3
- 5. Ditaalによる図の例 3

1. 前提条件

事前にインストールしておくもの

- Chromeの [LiveReload](#)
- Gitクライアント
- Java
- Graphviz

※ プロジェクトで [asciidoctor/asciidoctor-gradle-plugin](#) を使用しており内部でJRubyを使っているため、Rubyのインストールは不要。

1.1. Grapvizのインストール

- Macの場合はbrewでインストール

```
$ brew install graphviz
```

- dotコマンドが使えるようになって入れればOK

```
$ dot -v  
dot - graphviz version 2.40.1 (20161225.0304)
```

2. インストール方法

- [Takumon/AsciidocTemplate](#) をクローンする。

```
$ git clone https://github.com/Takumon/AsciidocTemplate.git
```

3. 使用方法

3.1. 通常の場合

プロジェクト直下で下記を実行するとdocsフォルダ配下にHTMLとPDFが生成される。

```
$ cd AsciidocTemplate  
$ ./gradlew asciidoctor
```

3.2. ライブリロードを使う場合

adocファイルを修正したらリアルタイムにHTMLを出力し、ブラウザに修正が反映されるようにする。

3.2.1. 手順

- プロジェクト直下で下記を実行する。

```
$ cd AsciiDocTemplate
$ ./gradlew -t asciidoctor
```

- もう一つ別のターミナルを起動し、プロジェクト直下で下記を実行する。

```
$ cd AsciiDocTemplate
$ ./gradlew liveReload
```

- Chromeで <http://localhost:35729/html5/sample.html> を開く。
- ChromeのLiveReload機能をONにする(右上にあるLiveReloadアイコンをクリックする)
- この状態でadocファイルを編集するとブラウザにリアルタイムに反映される。

4. PlantUMLによるクラス図の例

UMLはPlantUMLで記述できる。日本語 (UTF-8) でも記述可能。

[クラス図] | classediagram.png

Figure 1. クラス図

5. Ditaadによる図の例

箱と線で表現するものはDitaadで記述可能。日本語 (UTF-8) は文字化けする

[$a = 1 + 3$ の構文木] | syntaxtree.png

Figure 2. $a = 1 + 3$ の構文木